



## 目 次

原 寛： 東部ヒマラヤ植物新知見 (15) .....	193
豊田清修： 行田出土のハスの実の自然発芽と開花 .....	206
渡辺真之： 阿寒湖の藻類 (2) .....	215
雑 録	
富樫 誠： 北ボルネオで <i>Mitrastemon</i> を発見.....214——山崎 敬： ナンゴク ヒメミソハギ.....224	
正 誤.....	205

## Contents

Hiroshi HARA: New or noteworthy flowering plants from Eastern Hima- laya (15).....	193
Kiyonobu TOYODA: Natural germination and flowering of old <i>Nelumbo</i> fruits dug from the mud layer of Gyoda, Saitama Pref., Japan....	206
Masayuki WATANABE: Freshwater algae from Lake Akan, Hokkaido (2)	215
Miscellaneous	
Makoto TOGASHI: <i>Mitrastemon</i> sp. found in North Borneo....214—— Takasi YAMAZAKI: <i>Ammannia auriculata</i> var. <i>arenaria</i> found in Kyushu and Taiwan....224	
Errata....	205

[表紙カットの説明] *Degeneria vitiensis* の果実と種子。フィジー諸島に産する 1 科, 1 属, 1 種の植物で原始被子植物の一つとしてよく知られる。図はソ連の A. Takhtajan 氏がフィジー諸島調査の帰途, 日本により, 津山尚氏に寄贈されたものを写真にした。(山崎 敬)

[Explanation of the cut on the cover] A fruit and seeds of *Degeneria vitiensis* presented by Dr. A. Takhtajan to Dr. T. Tuyama in 1971. Photo by T. Yamazaki. (T. Yamazaki)

## 投稿規定

1. 論文の投稿者は原則として本誌1年以上の購読者であること。
2. 文章は簡潔に書くこと。
3. 論文の脚注に著者の勤務先（勤務されていない場合は住所）とその欧文訳を付記すること。また、継続論文は脚注に前報掲載の誌名、巻数、頁、年号を入れること。
4. 本論文と雑録の著者名にはローマ字綴り、題名は欧和両文で付けること。
5. 和文原稿は平がな交り、横書のこと。植物和名には片かなを用い、なるべく400字詰の原稿用紙を用いること。欧文原稿は“一行あき”にタイプすること。
6. 和文の本論文には欧文の、欧文のそれには和文の簡単な摘要をつけること。
7. 原図には必ず倍率を表示し、図中の記号、数字には活字を貼込むこと。原図の説明文は2部を作製し、1部はたやすく剝がすことができるように貼っておくこと。図は刷上りで頁幅か又は図の側方に10字以上のあきが必要である。
8. アート紙使用のプレートについては実費を著者で負担のこと。
9. 登載する順序や体裁は編集部にお任せのこと。活字の指定は編集部ですが、特に希望される個所があれば鉛筆で記入のこと。
10. 投稿者は必要とする別刷数（50の倍数）を原稿に明記すること。本論文に限りそのうち50部は無料、それ以上は著者負担のこと。
  - a. 希望される別冊の部数は論文原稿に明記のもの以外は引き受けない。
  - b. 雑録の別刷は1頁以上のもので実費を著者が負担する場合に限って作成する。
  - c. 著者の負担する別刷の代金は印刷所から直接に請求するので印刷所へ御送金のこと。御送金の後に別刷を郵送する。
11. 送稿の際には住所と郵便番号とを明記すること。
12. 送稿や編集に関係した通信は〒105 東京都港区西新橋 1-20-14, 植物研究雑誌編集幹事、藤田路一あてのこと。

## 編集員

### Members of Editorial Board

朝比奈泰彦 (Yasuhiko ASAHINA)

編集員代表 (Editor in chief)

千原光雄 (Mitsuo CHIHARA)	藤田路一 (Mitiiti FUJITA)
原寛 (Hiroshi HARA)	久内清孝 (Kiyotaka HISAUCHI)
井上浩 (Hiroshi INOUE)	伊藤洋 (Hirosi ITO)
木村陽二郎 (Yojiro KIMURA)	木村雄四郎 (Yushiro KIMURA)
小林義雄 (Yosio KOBAYASI)	黒川道 (Syō KUROKAWA)
前川文夫 (Fumio MAEKAWA)	大橋広好 (Hiroyoshi OHASHI)
佐々木一郎 (Ichiro SASAKI)	津山尚 (Takasi TUYAMA)
山崎敬 (Takasi YAMAZAKI)	

## 代 金 払 込

- 1) 本誌代価普通号1部 250円, 増大号は別に定めます。
- 2) 1ヶ年分(雑誌普通号および増大号を含む12回分) 2,700円(送料別, 1部16円)。
- 3) 代金払込は, 〒182 東京都狛江市和泉1421 津村研究所(振替東京1680) へてにお送り下さい。

Overseas annual subscription rate: 3,000 yen including postage for Vol. 49 (1974) and after.

All communications to be addressed to the Editor

Dr. Yasuhiko Asahina, Prof. Emeritus, M. J. A.

Tsumura Laboratory, 1421, Izumi, Komae-shi, Tokyo, Japan

### 植物研究雑誌1巻～8巻迄覆刻完成のお知らせ

植物研究雑誌創刊号～8巻迄, 津村順天堂で覆刻致しました。

価格 1セット(6分冊2箱入) 7万円

(但し昭和49年8月31日迄払込みの方は6万円)

申込みと代金払い込み先

津村研究所(振替) 東京 1680

The Journal of Japanese Botany, vol. 1-8 are reproduced in facsimile.

Price 75,000 yen including postage.

昭和49年7月15日印刷

昭和49年7月20日発行

編集兼発行 佐々木一郎

印刷者 富田 潔

東京都練馬区豊玉北2ノ13

印刷所 学術図書印刷株式会社

東京都練馬区豊玉北2ノ13

電話 (991) 3754番

発行所 津村研究所

東京都狛江市和泉1421

(振替 東京1680)

定 価 250 円

不 許 複 製